

明日を大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより第2号

令和5年12月22日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

本校の進路指導について

本校では、卒業後の生活が豊かになるよう、自立し社会参加するために欠かせない働く意欲や態度、生活習慣の育成に向けて様々な学習活動を行っています。高校生の時期は青年期と呼ばれ、心身ともに発達が著しく、仲間の存在や自分の役割を果たすことを通じて「自分とは何者か」を考え、悩みながら様々な切り口から「自分」というものを形作っていく時期でもあります。進路指導というと「将来のことを決める指導」と思われがちですが、私は生徒一人一人の「今」と「今まで」と「これから」を生徒自らがつないでゆく事への支援と考えています。

9月から10月にかけて各学年で行う「現場実習」は直接的に「将来」について学ぶ貴重な機会です。「学校」という環境を離れ、「大人(社会人)と一緒に」働く生活について学ぶこの学習では「働く力」について学ぶだけでなく、自分の精一杯の力を出し切る経験を通して「自分」というものを少し違う角度から見る機会にもなっているように思います。実習後多くの生徒に「成長」を感じるのも「何かができるようになった」ことだけでなく、今とこれからの自分をつなぐ手がかりをつかんだ安心感もあるのではと考えます。

いつもと違う環境でも「自分の精一杯を發揮できる力」を支えていくには、毎日の学習の充実が大切です。本校においては日々の学習活動はもとより、寄宿舎生活や部活動等も生徒の「今」を充実させ、成長を促す大きな役割を担っており「新篠津の良さ」の一つと言えるのではないのでしょうか。

また、進路相談を1年生の内から進めていきますが、「卒業後の生活を自分で決める」ことはとても難しいことです。生徒たちは今までにはない大きな決断を、今までにはないほど問われることを繰り返しながら少しずつ、感情を整理し、思いを言葉にできるようになり、助言を聞き入れながら考えを修正できるようになっていきます。また、自分の身の周りのことや社会のことにも関心が広がっていきます。進路相談、進路決定は高校卒業時に人生の全てを決定するためではなく、人生の節目で成長に合わせてその時の自分に考えられることを自分なりに決めていく、この作業を生徒中心にしっかり取り組んでいく事が大切だと考えています。

今年も新篠津村を始めたくさんの地域、企業、事業所の皆様の御協力を得て、無事に現場実習を行うことができました。本校の生徒を受け入れていただくにあたり、作業を御準備いただいたり、支援のスタッフの方を調整いただいたりと御配慮ありがとうございました。また、保護者の皆様におかれましては事前の準備や、送迎、面接や巡回訪問の同行、日誌の記入、生徒の健康管理など御協力いただきありがとうございました。

1, 2年生についてはこの後、「進路希望調査」を御家庭に配布します。今回の実習を経て生徒が考えたこと、実習の評価などを参考に冬休み期間中に御家庭で十分に話し合って御記入下さいますようお願いいたします。3年生につきましてもここから4月までの過ごし方が大切になります。残りの学校生活が充実したものとなりますよう今後ともよろしくようお願いいたします。

進路指導部長



現場実習

・ 1 学年

9月27日（水）から10月4日（水）までの6日間、村内9カ所、当別町4カ所の実習先で、徒歩と借り上げバスを使って実習を行いました。いつもと違う仲間や先生と、初めて行う作業を一日通して取り組むことで、良い緊張感が生まれ初日は良い表情で帰校してきました。2日目以降は疲労が溜ってきたり、「これくらい大丈夫だろう」という判断をして厳しく指摘されたり「働く生活」の大変さや仕事への責任について学ぶことができました。学校では見えない自分の良さや課題に気づきながら、全員自分のすべきことに向き合って6日間の実習をやり遂げることができました。応援ありがとうございました。

1 学年進路担当



・ 2 学年

2学年の現場実習は、生徒の進路希望や課題に応じて3つの形態で実施しました。村内の企業に引率の教員と一緒にグループで行く「引率実習」、村内もしくは岩見沢市内の企業に学校から生徒が単独で赴き、教員が巡回指導する「巡回指導型引率実習」、生徒が自宅から地元の企業に通う「単独実習」です。



現場実習は、どの形態においても実際の社会の中で社会人の皆様と一緒に働くことを経験できる貴重な機会です。生徒たちは、実習を通して「働く」とはということなのか、「働く」上で大切なことは何かを学ぶことができました。受け入れをしてくださった企業の皆様、支えてくださった保護者の皆様、心より感謝申し上げます。生徒が実習での経験を糧に、進路実現に向けて努力していけるよう今後も継続して指導していきたいと思います。

2 学年進路担当

・ 3 学年

3年生は、卒業後に「生徒を雇用する」あるいは「生徒の利用を受け入れる」ことを、実習先に見極めてもらう前提とした2～6週間の現場実習を行いました。それぞれ実習の目標をたてて強い気持ちをもって実習に挑みました。巡回訪問で様子を見に行くと、仕事内容を自ら確認する姿や、「もっと実習を続けたい」といった発言などもあり、良い表情で取り組んでいました。実習を終えて戻ってきた生徒達は、実習をやりとげた自信から実習前と比べて成長した姿を見せてくれました。卒業まで残りわずか、社会人になることを意識して学校生活を過ごしてほしいです。保護者の皆様には、現場実習中の御理解、御協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

3 学年進路担当



新高祭 学年発表

1 学年「Never Give Up! ～ともに歌おう～」



1 学年は、体育大会に引き続き「NEVER GIVE UP!」を合言葉に、発表に向けて練習を重ねてきました。

それぞれの得意なことや好きなことを生かして、グループや学年全員で、書道パフォーマンス、ダンス、太鼓、縄跳び（ダブルダッチ）、合唱と、さまざまなパフォーマンスに挑戦しました。練習をしていく中で、思うようにできなかったり、動きが揃わなかったりと、うまくいかないことはたくさんありましたが、お互いに励まし合って練習を

重ね、本番は今までで最高の発表を行うことができました。また書道パフォーマンスでは、お互いに励まし合う言葉を考えて、全員がそれぞれの言葉を書きました。優しさや思いやり、そして力強さのある言葉ばかりでした。40名全員が、それぞれの「Never give up」をやり遂げることができたと思います。to be continued…

学年発表担当

2 学年「新高応援団～こんな応援あったんだあ!! 32の愛があなたに元気を届けます♡」

今年のテーマは「新高応援団」。昨年度までの3年間。コロナの影響で様々な行事や学習が中止または縮小され、思うように学習・経験ができず、色々なことが制限されてきました。その中で知らず知らずのうちに募らせてきた「負の気持ち」を、生徒一人一人が応援団の一員として思いっきり体を使って表現することで吹き飛ばす。そして「演じる自分達も、観客の皆さんも、全ての人が元気になるパフォーマンス」ということを目標に、2学年32名全員で取り組んだ「新高応援団」。

最後、Pecori Night を踊って体育館を走り抜けていく生徒達の笑顔が、発表の成功と充実した練習期間を過ごせたことを物語ってくれていたと思います。

学年発表担当



3 学年「まごころのたね」

学校祭の出し物の内容は、今年も迷いなく「劇」としました。これは昨年、2年生の学校祭での劇の上演が終了した直後に、生徒達から「先生、来年の劇は何にするの?」と熱い要望があったからです。学校



祭への期待や意欲を寄せる生徒も多く、担当者としてはプレッシャーではありましたが、台本を作る際は「生徒の持ち味」を引き出せられるように工夫しました。また、本学年は演ずることを楽しみにしている生徒も多く、お互いの演技を尊重し素敵な雰囲気の中で進めることができました。当日は、笑いあり拍手あり涙ありと40分という短い時間の中ではありましたが、演者たちの力によって観客を沸かすことができました。生徒の底力はもちろんサポートにあたった教員が一つになった記念すべき日となりました。

学年発表担当

1 学年 宿泊研修

6月29日（木）から一泊二日の日程で実施し、一日目は新篠津村の役場や農業協同組合の施設を見学しました。村の行政機関と農作物の施設見学は、事前に学習した地域の公共施設や特色などに関連し、返事やうなずきながら説明を聞いたり、積極的にしおりに書いたりする生徒たちの姿が印象的でした。その後は札幌市や北広島市に移動し、北海道博物館やエスコンフィールドを見学して、青少年会館コンパスで宿泊。二日目は学級ごとに札幌市内や近郊で自主研修を行い、公共交通機関や研修先での計画をもとに、仲間と協力しながら移動したり、目的地で意欲的に活動したりすることができました。降水確率がかなり高い日でしたが、研修中は天候にも恵まれ、雨に当たることのない強運な二日間でした。

体験を通してたくさんの思い出ができ、宿泊研修の経験から学びを深め、学年の団結力も高めることができました。

1 学年主任



2 学年 見学旅行



12月5日から三泊四日の日程で関東方面へ行ってきました。初日は鎌倉大仏と鶴岡八幡宮を見学。2日目はカップヌードルミュージアムを見学後、横浜から東京都内までの学級別自主研修を実施。事前に自分たちで計画した目的地を仲間と協力しながら巡り、大都会「横浜・東京」を肌で感じてきました。3日目は東京都内を車窓見学しながら、東京ディズニーランドへ。五つのグループに分かれ、事前に立てた行動計画と「これだけは絶対やってきたいこと！」をもとに、思い思いに活動しました。4日目はお台場を見学し、北海道へ戻りました。四日間、天気にも恵まれ

北海道とは違う文化を感じることができました。楽しいことはもちろん思い通りにならないこともありましたが、それらも含めて仲間との団結を深めることができた貴重な経験となりました。

2 学年主任



3 学年 見学旅行

三年間の高校生活で一番思い出に残る行事、第一位の見学旅行が関西方面を旅行先に無事に実施されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、久々に制限がほぼない中で宿泊行事。感慨深いものがありました。

今年度の見学旅行は自主的な活動を大切に、スマートフォンの持参や服装などについてどうすべきかを話し合いました。スマートフォンを持っていない人の気持ちや使用のルール、また服装は

北海道より暑い地域なので私服が良い、集合写真を撮るときは思い出として制服が着たいなど様々な意見を交わす中で、みんなが楽しめる見学旅行にしようとする意識が生まれていきました。

当日は、お互いにスマートフォンで写真を撮影したり、撮った写真を見せ合ったり、自主研修では教師よりも巧みに検索して電車を乗り継ぐグループも。今までにない生徒同士の自主的な活動が見られた見学旅行となりました。

3 学年主任



サマースクール

7月26日（水）、本校において、村内の小学生を対象とした学校開放講座「しんしのつ・サマースクール」が開催されました。小皿作り（陶芸）、木琴&カスタネット作り（木工）、布製コースター&小物入れ作り（縫工）の3つの講座が開かれ、それぞれ作品作りを楽しみました。



陶芸では、小皿の他に家の形の小物入れ作りにも挑戦しました。木琴とカスタネット作りでは、木琴の土台になる木に念入りにやすりがけを行い、音程を確認しながら組み立てを行いました。カスタネットの色づけもとてもカラフルで独創的でした。布の小物作りは、好きな柄の布を選び、初めての職業用ミシンに緊張しながらも、慎重に縫い進めることができました。今回で2回目の参加という小学生も多く、みなさん真剣に説明を聞き、作品作りを楽しんでいました。本校が身近な存在になり、夏休みの素敵な思い出のひとつになってくれたらと思います。

総務部サマースクール担当

オープンスクール

11/27、12/1、12/15の3日間、オンラインオープンスクールを実施しました。6学科に、延べ650名を超える中学1、2年生の参加がありました。

11月から12月にかけて新高祭と学科販売会の準備等で大忙しだったのにも関わらず、1学年が専門教科（作業学習）の中で、準備を進めました。画面越しではありましたが、ゆっくり話したり、実際に工程の一つをやって見せたりして、学科の作業内容等をできるだけ分かりやすく伝えようとする事ができました。また、中学生からの質問に対して、4月入学してから自分が経験したことや感じていること等を楽しそうに回答する姿も見られました。

この経験を先輩としての自信につなげてくれたらと思います。

教務部オープンスクール担当



しんしのつ会

10月21日、秋の冷え込む時期でしたが小春日和の中、施設見学へ行きました。当日は42名の同窓生と19名の先生方、総勢61名が札幌駅で集合し、朝から笑顔で交流を始めました。

当別町のロイズカカオ&チョコレートタウンでは、今年から新たな見学体験コースができ、当日も賑わっていました。“カカオファームゾーン”では、カカオの産地・コロンビアのような雰囲気の中でカカオの天日干し体験をしたり、“工場体験ゾーン”では、カカオマスを映像タンクの中で混ぜたり、チョコレートを動物の型に流し入れたりして、製造工程をゲームで楽しみました。見学後は、チョコレートを買ったりチョコレートソフトクリームを味わったりと、最後まで満足する施設見学となりました。

進路指導部しんしのつ会担当



令和5年度学校運営協議会

本校は令和2年度から「学校運営協議会」を導入しましたが、コロナ禍の中で開催がままならず、過去3年間とも年間3回の予定が1回のみの開催となっていました。

今年度は、ようやくコロナ感染が落ち着き、計画通り、第一回を6月に、第二回を11月に開催することができました。第二回協議会では、「新篠津高等養護学校に期待すること」、「学校・地域の双方向の交流」とのテーマで、委員の皆様と事務局の教員で“熟議”を行い、いくつもの貴重なアイデアをいただきました。今後も地域の方々とともに本校の課題を協議する機会を大切にしたいと考えています。

第三回の協議会は、2月中旬に実施する予定です。そこでは、学校評価、来年度の学校運営方針などについて、委員の皆様から御意見をいただくことになっています。

学校運営協議会担当



《編集後記》

今年度は、長いコロナ禍がようやく落ち着いてきて、数年ぶりに来賓の方々や保護者の方々をお迎えした体育祭や新高祭など、アフターコロナでの教育活動が始まりました。今後も、学校全体で「チーム新篠津」として邁進していきたいと思います。

来年も素晴らしい1年になりますよう、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

